

# インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

| 大学名 (フリガナ)    | 学部名 (フリガナ)   | 所属ゼミナール名 (フリガナ) |
|---------------|--------------|-----------------|
| フリガナ) ニホンダイガク | フリガナ) ショウガクブ | フリガナ) イワタゼミナール  |
| 日本大学          | 商学部          | 岩田ゼミナール         |

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

| チーム名 (フリガナ)   | 代表者名 (フリガナ)  | チーム人数<br>(代表者含む) | PPT 動画<br>(有・無) |
|---------------|--------------|------------------|-----------------|
| フリガナ) チムカグヤヒメ | フリガナ) ツムラサアヤ | 5 人              | 無               |
| チームかぐや姫       | 津村咲彩         |                  |                 |

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

| 使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください) |
|------------------------------------|
| なし                                 |

| 研究テーマ (発表タイトル)    |
|-------------------|
| 地域ビジネスとエリアマーケティング |

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

## 1. 研究概要 (目的・狙いなど)

1. エリアマーケティングを用いた地方産業の活性化
2. 地域特産品を用いた地域経済の独立促進
3. 都市部でも通用する、将来への持続性を兼ね備えた商品のプランニング

## 2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

- ・ 地方での主軸産業は農林水産業である「第 1 次産業」となっている。
- ・ 多くの地方において地域資源を活かした特産品開発が進められているが、成功事例は現状少ない。
- ・ 本題材の愛媛県松野町においても同じことが言える。
- ・ 狭い視野の地域コミュニティ環境である現在では、多種多様な買い手のニーズを把握できない。
- ・ 生産者と消費者、地方と都市部における「需要供給のズレ」が発生している。

## 3. 研究テーマの課題

1. 今後地方産業は、国から支給される補助金等に頼らず、経済的に独立できるようにする必要がある。
2. 生産者側 (主に農家) は、自身の商品価値について正確に理解した上で流通を行わなければならない。

3.正しく理解した上で、適切な価格、販売方法を判断できる能力や手段を確立させなければならない。

4.売り手買い手の理に適った生産・販売を行える仕組み作りが重要になる。

#### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

・消費者、あるいは都市部における実情の調査により「認識のズレ」を明確化する。

・擦り合わせにより売り手買い手の均衡点を位置づける。

・ニーズを把握した上で1次産業者の無駄のない安定した生産を確立させる。

#### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

・愛媛県松野町の特産品の東京における市場調査

・愛媛県松野町・池袋のアンテナショップへのフィールドワーク

・上記2点を踏まえたマーケティング戦略の考案と実施

#### 6. 結果や今後の取り組み

・検証により相互のズレを認識し、適切かつニーズに見合った生産や販売が可能になった。

・今回の調査基盤を活かし、今後の特産品開発での情報源を確立させた。

・以上の結果を踏まえ、今後は限りある地域資源を活かした無駄のない生産に着手することが必要である。

#### 7. 参考文献

・岩田貴子「第2章 エリア・マーケティング理論の再考と新展開」『エリア・マーケティング アーキテクチャー』税務経理協会 2015,pp31-32

・<http://www.bus.nihon-u.ac.jp/laboratory/pdf/IwataTakako31.pdf>

（岩田貴子 エリアマーケティングにおける内発的発展的アプローチ 平成29年8月18日）

・<http://www.pref.ehime.jp/h20400/ninchishoshien/consult/counselor.html>

（愛媛県ホームページ 平成29年7月31日最終アクセス）

・<https://www.pref.ehime.jp/h15700/4731/keikaku/documents/ecotownplan-all.pdf>

（愛媛県 愛媛県の地理的、産業的特徴 平成29年6月21日最終アクセス）

・<http://www.pref.ehime.jp/h30200/kankoutoukei/documents/h28kankoutoukei.pdf>

（愛媛県ホームページ 平成28年観光客とその消費額 平成29年6月21日最終アクセス）

・<https://www.mlit.go.jp/common/001145930.pdf>

（国土交通省 平成27年度 過疎地域等条件不利地域における集落の現状 平成29年7月30日最終アクセス）

・<http://www.mlit.go.jp/common/000025660.pdf>

（国土交通省 都市・地域レポート2008 平成29年7月30日最終アクセス）

・<http://www.jilc.or.jp/industry/shinchiikisangyo.pdf>

（財団法人 日本立地センター 条件不利地域における内発的発展の要因と推進体制に関する研究 平成29年8月18日最終アクセス）

・<http://foodslink.jp/syokuzaihyakka/syun/fruit/MomoVarie.htm>

（旬の食材サイト『モモ（桃/もも）の種類と特徴』平成29年7月31日最終アクセス）

・[https://www.jstage.jst.go.jp/article/arp/28/Special\\_Issue/28\\_Special\\_Issue\\_375/\\_article/-char/ja/](https://www.jstage.jst.go.jp/article/arp/28/Special_Issue/28_Special_Issue_375/_article/-char/ja/)

（条件不利地域における内発的発展の要因と推進体制に関する研究 平成29年8月18日最終アクセス）

・<http://www.jmmp.jp/meisan/>

（全国観光特産検定『名物検定』平成29年8月15日最終アクセス）

・<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/>

（総務省「平成27年国勢調査」平成29年7月31日最終アクセス）

・[https://www.keieiken.co.jp/inaka/pdf/01\\_soumushou.pdf](https://www.keieiken.co.jp/inaka/pdf/01_soumushou.pdf)

（総務省 地域おこし協力隊の現状等について 平成29年7月31日最終アクセス）

・<http://toyokeizai.net/articles/-/60862?page=1>

(東洋経済 ONLINE『特産品で地方創生ができるという「幻想」 自治体がからむプロジェクトは失敗だらけ』平成 29 年 8 月 15 日最終アクセス)

・[http://www5.cao.go.jp/j-j/cr/cr14/pdf/chr14\\_2-2.pdf](http://www5.cao.go.jp/j-j/cr/cr14/pdf/chr14_2-2.pdf)

(内閣府 第 1 節 地方において人口の増加する市町村の特徴 平成 29 年 7 月 30 日最終アクセス)

・<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/about/2010.html>

(農林水産省『2010 年農林業センサス』平成 29 年 7 月 31 日最終アクセス)

・[http://www.maff.go.jp/j/nousin/tiiki/sanson/s\\_about/genzyo/](http://www.maff.go.jp/j/nousin/tiiki/sanson/s_about/genzyo/)

(農林水産省 振興山村の現状『山村カード調査』平成 29 年 7 月 31 日最終アクセス)

・<https://www.foods-ch.com/shokuhin/1433831771916/>

(FOODS CHANNEL『特産品ブランド化のお手本。「太陽のタマゴ」が全国区になったワケ (JA 宮崎経済連)』平成 29 年 8 月 15 日最終アクセス)

・<http://volunteer-platform.org/words/development-cooperation/endogenous-development/>

(ボランティアプラットフォーム 内発的発展 平成 29 年 8 月 18 日)

・<http://www.town.matsuno.ehime.jp/soshiki/17/chiikiokoshi2.html>

(松野町ホームページ 平成 29 年 7 月 31 日最終アクセス)

・<https://vote.smt.docomo.ne.jp/knowledge/trivia/result/27044>

(みんなの声『桃の名産地といえど?』平成 29 年 7 月 31 日最終アクセス)

#### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経 BP マーケティング社様に作製していただく大会結果 HP に本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HP などに発表されていない)ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

---

**↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください**